

事前評価調書

I 事業概要																													
事業名	治山事業（予防治山事業）																												
地区名	おかざきしひがしかわはらちようくろいし 岡崎市東河原町黒石																												
事業箇所	おかざきしひがしかわらちようあざくろいし 岡崎市東河原町字黒石 地内																												
事業のあらまし	山腹斜面に不安定な岩盤、落石が多くみられ、山地災害の危険性が高い。そのため、地元からの要望と荒廃現況を勘案して固定工、落石防護柵を計画した。																												
事業目標	【達成（主要）目標】 山腹斜面にある落石や巨石に対して、固定工（ロープ伏、ロープ掛）及び落石防護柵（高エネルギー吸収柵）を施工し、山腹の保全を図る。																												
事業費	事業費		内訳																										
	168百万円		■工事費 168百万円																										
事業期間	採択予定年度	2019年度	着工予定年度	2020年度	完成予定年度	2022年度																							
事業内容	固定工（ロープ伏）1,612㎡、固定工（ロープ掛）120㎡ 落石防護柵（高エネルギー吸収柵）49m、落石破碎工2㎡																												
II 評価																													
①事業の必要性	1) 必要性	当該山腹には、浮石や亀裂のある岩盤が多く存在し、落石も発生している。地元住民からの事業実施の要望も強いため、治山事業の実施が必要である。 また、費用対効果分析結果（B/C）は1.44となり、基準値である1.0を超えており、効果が期待できる。																											
	判定	A	A：現状の課題又は将来の予測から事業の必要性がある。 B：現状の課題又は将来の予測が十分把握されていない。 【理由】 山地災害の未然防止を図る上で、当該地域における事業実施が必要であるため。																										
②事業の実効性	1) 事業計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">工種 区分</td> <td>調査・設計</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>工事</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・固定工</td> <td colspan="3" style="text-align: center;">←—————→</td> </tr> <tr> <td colspan="2">事業費（百万円）</td> <td colspan="3" style="text-align: center;">168百万円</td> </tr> </tbody> </table>							2020	2021	2022	工種 区分	調査・設計				工事				・固定工	←—————→			事業費（百万円）		168百万円		
			2020	2021	2022																								
工種 区分	調査・設計																												
	工事																												
	・固定工	←—————→																											
事業費（百万円）		168百万円																											
2) 地元の合意形成	地元住民からの要望である。																												
判定	A	A：事業計画の実効性が期待できる。 B：事業計画の実効性が期待できない。 【理由】 事業計画に無理がなく、地元合意もあるため、事業の実効性が期待できる。																											

Ⅲ 対応方針

事業実施が妥当である。

事業実施が妥当である。：上記①及び②の評価がすべてA判定であるもの。
事業実施は妥当でない。：上記以外のもの。

Ⅳ 事後評価実施の有無と主な評価内容

■対象（事業完了後5年目） 対象外

【事業完了後5年を越えて実施する理由・対象外の理由】

【主な評価内容】

対象の山腹の落石の状況から事業効果を評価する。